

学校教育目標	「ぐんぐん にこにこ きらきら輝く上小の子」 ○自ら問題を発見し、友達と学び合いながら、よりよく解決し続ける子を育てます。(知) ○自分の言動や物事の善悪を正しく判断するとともに、相手を思いやって行動したり、自信をもって取り組んだりする子を育てます。(徳) ○体を動かすことを楽しみ、広く長く運動に親しみ、心身ともにたくましく生きる子を育てます。(体) ○自分の思いや願い、夢をもち、自分にできることを考えて、互いに認め合いながら、行動し続ける子を育てます。(公) ○人とのコミュニケーションを通して、広い視野で物事をとらえられる子を育てます。(開)			
	創立 54 周年 児童生徒数: 375 人	学校長 竹下 護 主な関係校: 南台小学校・日下小学校・笹下中学校	副校長 関口 義和	2 学期制 一般学級: 12 個別支援学級: 3

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	笹下中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <他者とのかかわりに関する力>	笹下中学校 南台小学校 日下小学校	○つながりを大切にし、自他を思いやった言動のとれる子ども ○めあての実現に向けて自信をもって主体的にチャレンジできる子ども ・小中合同研修会等を通して児童生徒の支援計画を共有し指導の充実を図る。 ・授業交流を通して小学校教員、児童と中学校教員がつながる。 ・授業を保護者、地域に公開し、保護者、地域とつながる。 ・子どもが主体的に学びに向かうことや、子ども同士ですすんでつながることができる雰囲気づくり、環境づくり、居場所づくりを努める。

中期取組目標	○学校教育目標を実現するために、「子どもが主役」を合言葉に、活力と魅力のある学校づくりを目指します。 ・学ぶ楽しさを実感し、主体的に考え、表現する授業づくりを行い、学力の向上を図ります。 ・人権教育、道徳教育、特別支援教育、児童指導の充実を図り、だれもが安心し、互いに認め合う学校生活を送ることができるようにします。 ・小中一貫教育推進ブロック校や家庭・地域と連携し、信頼される学校づくりをすすめます。 ・教職員が相互に啓発・連携し、一人ひとりが学校運営に参画できるようにします。
--------	--

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td>確かな学力</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>E 研究</td> </tr> </table>	知	確かな学力	担当	E 研究	①基礎学力習得のため、個別最適な指導を行う。異なる考えを友達同士、地域や専門家など多様な人々と協働して、学びにつなげる指導を行う。②重点研で扱う教科・領域以外でも手立てを講じ、「問題を見出し、共に認め合いながら主体的に活動する子ども」を育てる改善に取り組む。
知	確かな学力				
担当	E 研究				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td>豊かな心</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>C 児童指導</td> </tr> </table>	徳	豊かな心	担当	C 児童指導	①児童会活動や地域とのふれあいなどを通して、進んで挨拶をしようとする子を育てる。②互いに認め合える学習を通して、自分のよさを自覚し、自己肯定感を高められるようにする。③たてわり活動を充実させるとともに、異学年同士のつながりを築ける活動を継続して展開する。
徳	豊かな心				
担当	C 児童指導				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td>健やかな体</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>A 体育</td> </tr> </table>	体	健やかな体	担当	A 体育	①教育活動の中で、体を動かすことの楽しさを味わい、多様な運動とかかわりができるようにする。②学校保健委員会では、怪我の防止に関するテーマを設定し、年間を通じて取り組む。③体育科における児童の資質・能力の育成につながる様々な手立てを講じる。
体	健やかな体				
担当	A 体育				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公開</td> <td>地域連携・学校運営協議会</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務</td> </tr> </table>	公開	地域連携・学校運営協議会	担当	教務	①様々な場面で地域のよさに気づき、継続的に交流をもち、地域の一員として活動していく子どもを育てる。②学校運営協議会をはじめ、学校関係者評価の結果や改善点を公表し、学校経営に生かす。③地域と関わる活動や行事に、児童が気持ちを向けて関わるようにする。
公開	地域連携・学校運営協議会				
担当	教務				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">いじめへの対応</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>C 児童指導</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	C 児童指導	①月2回、いじめ防止対策委員会(臨時を含む)を実施し、情報共有して未然防止、早期解決に努める。認知された案件の経過確認を行い再発防止に努める。②研修や生徒指導提要、専任会の情報を共有し、些細なサインを察知する。アンケートや横浜プログラムを児童理解・指導に活かす。
いじめへの対応					
担当	C 児童指導				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">人材育成・組織運営(働き方)</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務</td> </tr> </table>	人材育成・組織運営(働き方)		担当	教務	①学年やブロック、重点研の研究会を計画的に行い、学習・授業改善を図り、児童理解と指導力の向上に努める。②メンター研修や教科・領域等研究会を充実させ、授業力向上に努める。③主幹教諭や専任をリーダーとして、指導・支援の方向を合わせて教育活動を創造する組織運営をする。
人材育成・組織運営(働き方)					
担当	教務				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">特別支援・児童指導</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>C 児童指導</td> </tr> </table>	特別支援・児童指導		担当	C 児童指導	①個別最適な学びの実現に向け、個に応じた支援の在り方や支援体制の充実を図り、児童のよさが認められ、安心して過ごせる居場所づくりを行う。②学校のきまり(スタンダード)を基に、共通理解を図り、必要に応じて関係機関と連携する。保護者との連携も大切にして指導にあたる。
特別支援・児童指導					
担当	C 児童指導				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">自分づくり教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>B 特別活動</td> </tr> </table>	自分づくり教育		担当	B 特別活動	①学校生活全般において、思いや願い、希望をもち、探求的にかかわる中で、自信をもち、自分の役割を意識して生活できる子どもを育てる。②見通しを立て、学んだことをふり返りながら、新たな意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動に取り組める子どもを育てる。
自分づくり教育					
担当	B 特別活動				
<table border="1"> <tr> <td>担当</td> <td></td> </tr> </table>	担当				
担当					
<table border="1"> <tr> <td>担当</td> <td></td> </tr> </table>	担当				
担当					